

令和 4 年 4 月 12 日

(※受付番号)

教 育 長 様

代表者	校 園 名 :	大阪市立西中島幼稚園
	校 園 長 名 :	横田 ゆかり
	電 話 :	6 3 0 1 - 4 7 7 2
	事 務 職 員 名 :	至田 直之
申請者	校 園 名 :	大阪市立西中島幼稚園
	職 名 ・ 名 前 :	園長 横田 ゆかり
	電 話 :	6 3 0 1 - 4 7 7 2

研究コース
A グループ研究A
校 園 コード (代 表 者 校 園 の 市 費 コード)
645390

令和4年度 「がんばる先生支援」研究支援 申請書

◇本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1	研究コース	コース名	A グループ研究A	研究年数	新規研究 (1年目)
2	研究テーマ	伸び伸びと自分を表現する子どもを育てるための指導のあり方を考える ～就学前教育カリキュラムを活用して～			
3	研究目的	<p>テーマに合致した目的を端的に記載してください。</p> <p>○大阪市就学前教育カリキュラムを基に、幼児期の終わりまでに育てほしいの姿の1つである「豊かな感性と表現」に視点をあてた学びの検証</p> <p>○遊びや活動の中で、幼児が心を動かし、感じたこと、思ったこと、考えたことを表現できる幼児の育成</p> <p>○絵本や物語などを通して、幼児が興味や関心を広げたり、自分を表現したりする保育内容の検討や教材研究</p> <p>○幼児の育ちに視点を当てた保育記録や研究協議による教員の指導力の向上</p> <p>○外部講師の指導助言を生かした取組の大阪市全体への発信</p>			
4	研究内容	<p>継続研究は、前年度の成果と課題を分析した内容を踏まえて記載してください。</p> <p>大阪市就学前教育カリキュラムを基に本園の教育課程を作成し、保育を実践している。前年度は、環境を見直し、幼児が夢中になって遊ぶことを通して、自己肯定感を育むことを目指し、保育を実践した。幼児は、温かい雰囲気の中で、身近な環境に興味や関心をもって関わり、主体的に遊ぶ姿が見られるようになった。そのような本園の実態に合わせ、絵本や物語などのお話の世界を通して、自分の思いを表現する活動を検討する。以下内容を記す。</p> <p>①大阪市就学前教育カリキュラムにそった教育実践の検証</p> <p>就学前教育カリキュラムを基に、指導のあり方を考える。幼児期の終わりまでに育みたい幼児の姿の「豊かな感性と表現」に視点を当てて、環境や教師の教育的意図をもった働きかけについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おもしろそう」「やってみよう」「楽しいな」と、子どもの心が動くような環境を工夫する。 ・生活や遊びの中で、子どもが自分を伸び伸びと表現する姿につながるような、絵本や物語などの教材研究を行う。 ・実践記録をとり、子どもが伸び伸びと自分を表現している姿の要因や、子どもの育ちについて、教師間で討議する。 ・幼児が感じること、思ったこと、考えたことを表現できる環境や教師の教育的意図もった働きかけを実践し、検証する。 <p>②研究や研修を通じた教員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会に積極的に参加したり、教材研究を行ったりして、資質向上を図る。 ・外部講師からの指導助言を取組に生かし、保育の質を向上させる。 <p>②保護者や地域への保育実践の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究の成果を発信し、幼児の学びが広く伝わるようにする。 ・保護者に伝わりやすい形態で、実践事例を発信する。 <p>③大阪市内の就学前教育施設への研究内容の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究の成果や課題を発表し、市内の教育施設と就学前教育カリキュラムによる教育内容を共有する。 			

5	活動計画	<p>日程や内容など、研究の過程がわかるように詳細に記載してください。</p> <p>月2回程度、カリキュラム検討会を行う。</p> <p>4月 研究テーマの設定、研究目的や内容の検討、園内研究会の年間計画立案</p> <p>5月 就学前教育カリキュラムの分析、保育内容の詳細検討、園内環境の見直し、</p> <p>6月 園内研究会実施、実践記録の収集、保護者への事前アンケート実施と分析</p> <p>7月 1学期の実践の振り返り</p> <p>8月 研修会への参加、園内での伝達研修、自主研究や教材研究、 研究発表提案への準備</p> <p>9月 1学期の振り返りからの保育実践</p> <p>10月 園内研究会実施</p> <p>11月 園内研究会実施</p> <p>12月 保護者への研究成果発表 保護者への事後アンケート実施、分析と結果の考察</p> <p>1～2月 研究成果報告</p> <p>2月 研究の振り返りと課題への対策検討</p>
6	見込まれる成果とその検証方法	<p>大阪市教育振興基本計画に示されている、子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上および教員の資質や指導力の向上について、見込まれる成果を端的に記載し、その成果について、客観的な指標により必ず数値で示すことができる検証方法を記載してください。</p> <p>【見込まれる成果1】</p> <p>幼児が「やってみないな！面白いな！こうしてみよう！」と心を動かし、自分を表現しながら活動するようになる。</p> <p>≪検証方法≫</p> <p>保護者アンケートの「子どもは、意欲的に身近な環境に関わり、自分なりに表現することを楽しんでいて感じますか」の項目で、肯定的な回答の割合を80%以上にする。</p> <p>【見込まれる成果2】</p> <p>幼児が絵本や物語に親しみ、興味や関心をもって、見たり聞いたりすることを楽しむようになる。</p> <p>≪検証方法≫</p> <p>保護者アンケートの「子どもは、絵本や物語に親しみをもち、見たり聞いたりすることを楽しんでますか」の項目で、肯定的な回答の割合を80%以上にする。</p> <p>【見込まれる成果3】</p> <p>教師が、実践記録をとり、検討することで、環境や教育的意図をもった働きかけを工夫できる。</p> <p>≪検証方法≫</p> <p>保護者アンケートの「幼稚園は、子どもの興味や関心を高めるような指導を行っていると感じますか」の項目で、肯定的な回答の割合を80%以上にする。</p>

6	見込まれる成果とその検証方法	<p>【見込まれる成果4】 外部講師からの指導を受け、教員の指導力の向上につながる。また、本研究の報告を聞いた研究会参加者が、実践の大切さを知る。</p> <p>《検証方法》 教員への聞き取りで、就学前教育カリキュラムの活用によって保育が充実し、指導力の向上につながったと成果を感じたと答える割合を90%以上にする。</p> <hr/> <p>【見込まれる成果5】</p> <p>《検証方法》</p>					
7	研究成果の共有方法	<p>◆研究発表【必須】 報告書提出日（令和5年2月24日）までに必ず行ってください。</p> <p>○研究発表の日程・場所（予定）</p> <table border="1" data-bbox="416 994 1444 1070"> <tr> <td>日程</td> <td>令和 5 年 2 月</td> <td>日</td> <td>場所</td> <td>大阪市立西中島幼稚園</td> </tr> </table> <p>◆代表校園HPでの共有【必須】 他の共有方法を計画している場合は記載してください。</p>	日程	令和 5 年 2 月	日	場所	大阪市立西中島幼稚園
日程	令和 5 年 2 月	日	場所	大阪市立西中島幼稚園			
8	代表校園長のコメント	<p>遊びや活動の中で心を動かし、感じたことや考えたことを伸び伸びと表現する幼児に育つように、就学前教育カリキュラムを活用し、教育実践に取り組むことで、教職員の資質向上を図り、本園の教育活動の充実につなげたい。また、研究の成果を、保護者や地域、関係諸機関に広く発信することで、本市の幼稚園教育の理解を深めたい。</p>					